

認知症の人の “その人らしさ”を考える ～脳科学者の私と認知症の母～



講師 おんそう 恩蔵 あやこ 絢子氏 (脳科学者)

「認知症になると“その人らしさ”は失われてしまうのか」
この問いを否定するために、アルツハイマー型認知症と診断された母親を、娘として、脳科学者として、一緒に生活しながら観察・分析し続けた恩蔵絢子氏。認知症としての能力の低下と“その人らしさ”は別である、という結論は、認知症を捉えなおす上で、さらに「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」を進めていく上で、私たちの大切な道しるべになってくれるだろうと思います。
どなたでも参加可能です。是非お越しください。

参加
無料

日時

令和6年 **2/17** (土)
13:30 ▶ 15:00
(12:30より開場)

場所

かも～る (ホール)
(美濃加茂市文化会館)
〒505-0025 岐阜県美濃加茂市島町2-5-27

定員300名 事前申込制

電話あるいはFAX (裏面申込書使用) でお申し込みください

お問い合わせ・お申し込み

9:00～15:00 (土日祝祭日を除く)

のぞみの丘ホスピタル認知症疾患医療センター
〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3555

TEL

0574 - 27 - 7833

慈恵中央病院認知症疾患医療センター
〒501-4193 岐阜県郡上市美並町大原1-1

TEL

0575 - 79 - 3038

後援 / 一般社団法人日本認知症ケア学会・岐阜県認知症ケア専門士会

現職: 東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。

脳科学者。2007年に東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻にて博士号取得(学術博士)。人間の自意識と感情を専門に研究してきた。同居する母親が、2015年にアルツハイマー型認知症と診断されてからは、一人の娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で母を脳科学者として客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。母親との家での時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が2023年1月に放映された。現在は、高齢者の創造性に強く関心を持つ。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか』(永島徹との共著、中央法規)などがある。

- ▶ 会場内は暖房設備がありますが、各自調節ができる服装でお越しください
- ▶ 駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください

中濃圏域認知症疾患医療センター認知症講演会 参加申込書

(令和6年2月17日開催)

申込みは、①電話 ②FAX(本申込書)のいずれかをお願いします

電話の方は、のぞみの丘ホスピタル認知症疾患医療センター(0574-27-7833) のどちらかにお電話ください
慈恵中央病院認知症疾患医療センター(0575-79-3038)

認知症ケア専門士の方で単位認定を希望される方は、必ずFAXでお申し込みください

【申込者】

フリガナ			
氏名			
所属	* 所属がない場合は、「無し」とご記入ください		
連絡先	(電話)	職種	* 専門職以外の方は未記入で結構です
	認知症ケア専門士の方は右記もご記入ください ▶ 認知症ケア専門士番号		

FAX送信先

0574 - 27 - 7666

のぞみの丘ホスピタル認知症疾患医療センター